マーケットデイリー
SMAM
（No.2,390）
〈マーケットレポートNo.4,651〉
2016年2月5日
情報提供資料
資産形成なら SMAM

今日のトピック メキシコの金融政策（2016年2月）

政策金利据え置き、米国金融政策やペソの動向を注視

ポイント1 3.25%に据え置き

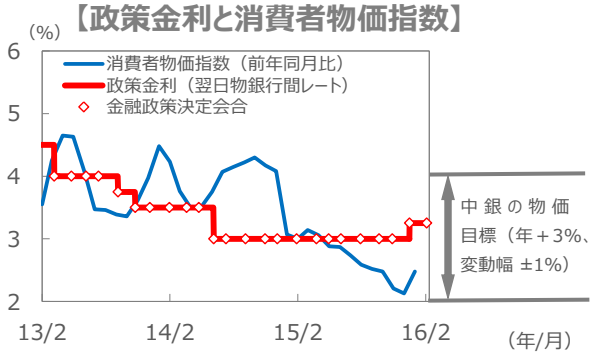
市場予想通りの決定

■メキシコ銀行（中央銀行、以下中銀）は4日、政策金利（翌日物銀行間レート）を3.25%に据え置くことを発表しました。

■中銀は14年6月以降、政策金利を過去最低水準の3.00%としていましたが、米国の利上げを受け、15年12月の前回会合で引き上げていました。

■その後、中国の景気減速懸念などから世界的に株価が下落、米国の追加利上げ観測が後退していたことなどから、ブルームバーグのエコノミスト調査では全員が今回の政策金利の据え置きを予想していました。

【政策金利と消費者物価指数】



（注）政策金利は2013年2月1日～2016年2月4日。
消費者物価指数は2013年2月～2016年1月。
（2016年1月は月前半）
（出所）Bloomberg L.P.、メキシコ銀行のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

ポイント2 通貨安を警戒

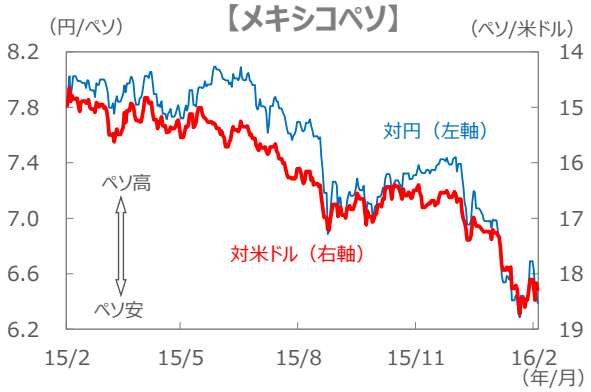
米国の金融政策に追随の見込み

■中銀は、消費が堅調な一方、米国景気の減速を受けて製品輸出が引き続き低迷していることなどを指摘し、景気の下振れリスクが幾分強まったとしました。

■一方、物価については、ペソ安により短期的に上振れリスクがあるものの、景気拡大ペースが緩慢なことなどから、今年から来年にかけて概ね年3%程度の落ち着いた推移が続くとの見方を示しました。

■中銀は、景気への配慮から現行の低水準の政策金利を維持しながら、米国が追加利上げする場合には、ペソ安圧力を抑えるため追随すると予想されます。

【メキシコペソ】



（注）データ2015年2月1日～2016年2月4日。
（出所）Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

今後の展開 メキシコペソは、原油安から下振れしやすいものの、中銀が下支え

■メキシコは、世界有数の産油国であり、政府歳入の約3分の1が石油関連となっています。原油安が続く場合、ペソは下振れしやすい展開が続くと思われます。

■中銀は、ペソが大きく下落した場合にペソ買い介入を実施する制度について、1月末までの期限を3月末まで延長しました。中銀の通貨安抑制姿勢は、今後もペソを下支えする見込みです。

ここもチェック!
2016年 1月28日 米国の金融政策（2016年1月）
2015年12月18日 メキシコの金融政策（2015年12月）

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。